



「VMware Briefing Center Tokyo」の基盤を支える中核ストレージにティントリを利用

VMware仮想化環境にフル対応し、
統合ハイブリッド クラウドの世界観を共有

ワークショップ形式で日本企業の課題解決を支援する 「VMware Briefing Center Tokyo」

プライベート・クラウド、マネージドサービス、パブリック・クラウドにまたがって構築する統合ハイブリッド クラウドへの関心が高まっている。仮想化ソフトウェア市場をけん引するVMwareは、SDDC（Software-Defined Data Center）アーキテクチャ上に統合ハイブリッド クラウドを構築する「One Cloud, Any Application, Any Device」を提唱。VMwareのビジョンや戦略と日本企業を結ぶ接点となるのが、VMware 東京本社内に開設された「VMware Briefing Center（以下、VBC）Tokyo」である。

「日本の多くのお客さまに仮想化ソフトウェアとしてVMwareをご導入いただいています。『既存資産を活かして次の一步をどうするか』、ワークショップ形式でお客さまと一緒に考える。VBC Tokyoで大切にしているのは、製品をご説明するのではなく製品を使って実現する世界観をご紹介することです。日本の実情や企業文化などに合わせて日本向けにすべてコンテンツをカスタマイズし新規コンテンツも提供していきます」とVMEウェア ソリューション技術統括部 VBCソリューショングループ 部長 菊本洋司氏は話す。

VBC Tokyoのシステム基盤を支える中核ストレージには仮想化環境専用ストレージTintri VMstoreが利用されている。VMwareの世界観をかたちにするためのストレージにはVMwareとの親和性と先進技術の両面が必要となる。

VMwareとの親和性が高く、世界観を共有できるティントリ

ティントリはVMwareテクノロジー アライアンス パートナーの1社だ。だが、その関係は単なる技術的なパートナーシップよりも深く近い。ティントリの創業者はVMwareで長くエンジニアを務めており、Tintri VMstoreは「VMware環境に最適なストレージをつくる」ことを目的に誕生した。そうした誕生の背景もあってティントリとVMwareは共同でセミナーやプロモーション、営業協力を行っている。

「Tintri VMstoreの販売がスタートした早い段階で製品をお貸しいただき、当社の技術者が直接触ってその特徴や良さを社内に啓発しています。またティントリさんの技術者の方にはかなりの頻度で当社の技術者や営業向けにトレーニングをしていただきました。そうした経緯のもとでVBC Tokyoでも製品を使わせていただいています。今回は世界観を共有できるかどうかを重視しました。また、ティントリさんはVMwareの新しいアーキテクチャであるVMware vSphere Virtual Volumes（以下、VVOL）や、VMware提唱する運用管理の自動化において、VMware vRealize Operations Manager（以下、vROps）やVMware vSphere Web Clientへの対応を非常に早いタイミングで実装してくださっています。これまでもストレージのハードウェア アシスト機能であるvSphere APIs for Array Integration（VAAI）も含めて、フルに対応していただいております。Tintri VMstoreはVMwareと非常に親和性が高く、VMwareが実現したい世界観をTintri VMstoreとともに提供することができると思っています。」とSE統括部 パートナー SE部 システムズエンジニア 七澤壮君氏は話す。

VMware Briefing Center
Tokyo

概要

VMware Briefing Center Tokyoは、さまざまな業種のお客さまがVMwareの経営幹部や各分野のエキスパートとの交流を通じてワークショップ形式でVMwareのソリューションの戦略的な導入を議論するための統合デモルーム

主な課題

- ・ SDDCアーキテクチャ上に統合ハイブリッド クラウドを構築する「One Cloud, Any Application, Any Device」の世界観をVMware Briefing Center Tokyoでお客さまに具体的なソリューションとして提示したい
- ・ お客さまのニーズに合わせたコンテンツの拡充に伴う構成変更にも柔軟な対応を可能にしたい

ビジネス上のメリット

- ・ Tintri VMstoreはVMwareの新しいアーキテクチャやVMwareが求めるAPIを早期に実装しフルに対応。VMwareと非常に親和性が高いTintri VMstoreはVMwareの世界観を共有することが可能
- ・ Tintri VMstoreはシンプルな構成となっており設計や性能チューニングも必要ないことから、VBC Tokyoの目的に応じた構成変更にも柔軟に対応



Tintri VMstore の最新 OS では VMware との連携をさらに強化している。「仮想マシンや仮想ディスクをそれぞれのオブジェクトとしてストレージが直接管理する仕組みを提供する VVOL を正式にサポートしました。仮想マシン単位でパフォーマンスを管理する考え方はティントリと同じ方向です。このことも世界観を共有できる大きな理由と言えます」とティントリジャパン SE マネージャー 東一欣氏は話す。

誰もが狙った性能を出せるのは Tintri VMstore の大きな魅力

統合ハイブリッド クラウドを実現するうえでストレージには VMware との親和性に加え、導入のたやすさや性能、運用のしやすさが求められる。

実際に Tintri VMstore を導入した七澤氏は「Tintri VMstore は収容可能な仮想マシンの台数に合わせて予めストレージ容量が最適化されています。LUN やボリュームを考える必要がなく、IP アドレスを設定するだけですぐにネットワークに接続して使い始めることができる。設定は数十秒で終わりました」と驚きを隠さない。

また、仮想化環境における性能問題で悩むお客さまが多いと、現場に近い SE である七澤氏は話す。「性能問題で CPU やメモリを意識するお客様はたくさんいらっしゃいますが、ストレージの観点は見落とされがちです。仮想化環境の性能問題を解決するうえでストレージの性能は重要なポイントとなります。これまで性能問題を解決するためにはストレージの技術者が高度な設定や複雑なチューニングを行う必要がありました」

仮想化環境における性能問題では、技術者に依存しないという視点が重要となる。技術者のスキルによって実際の性能に差が生まれてしまえば安定したパフォーマンスの維持は難しい。「Tintri VMstore の場合、難しい設計などしなくても自動的に性能チューニングが行われるため常に安定したパフォーマンスで運用できます。誰もが狙った性能を出せるのは Tintri VMstore の大きな魅力です。Tintri VMstore はストレージの専門技術者を必要としません」と菊本氏は話す。

ティントリのコア コンピタンスは、ハイパーバイザーから得られた仮想マシンごとの稼働状況をもとに Tintri VMstore 自身が性能チューニングを自律的に行い、各仮想マシンのストレージ性能を最適化していくことにあるとティントリの東氏は説明する。

「Tintri VMstore は仮想マシンごとに稼働状況を管理し、性能が必要かどうかを判断できるストレージです。専門知識を持つ SE が管理するのではなく Tintri VMstore 自身で管理します。通常、ストレージの性能を見る場合、RAID やディスクビジー率などを確認しなければならず大変です。Tintri VMstore は仮想マシンごとの稼働状況を自動収集し、仮想マシン単位でホスト、ネットワーク、ストレージレベルのパフォーマンスを可視化するためパフォーマンスが低下した場合の要因特定も迅速かつ容易に行えます」（七澤氏）。

2016 年 1 月、VBC Tokyo スタート当初から多くの問い合わせが寄せられているという。統合ハイブリッド クラウドに対する日本企業の関心の高さがうかがえる。VBC Tokyo では今後、お客さまのニーズに合わせてコンテンツの拡充も順次図っていく。Tintri VMstore はシンプルな構成となっており設計や性能チューニングも必要ないことから、VBC Tokyo の目的に応じた構成変更にも柔軟に対応できる。

仮想化・クラウド時代が急速に進展する中で、お客さまの課題解決とビジネス価値創出を支援するために VMware とティントリの連携は今後ますます強まっていくことだろう。



最新のエコシステムに基づいたデータセンターを完備



データセンター内の Tintri VMstore

「専門知識を持つ SE ではなく Tintri VMstore 自身が仮想マシンごとに稼働状況を管理し、性能が必要かどうかを判断する。誰もが狙った性能を実現できるのは大きな魅力ですね」

ヴイエムウェア株式会社
ゼネラルビジネスSE統括部
パートナーSE部 システムズエンジニア
七澤 壮君 氏

©2016 Tintri. All rights reserved. Tintri, Tintri VMstore, Zero Management Storage, FlashFirstおよび Tintri Global Centerは、米国Tintri社の商標または登録商標です。その他のすべての商標または登録商標はそれぞれ所有する各社に帰属します。160128

仮想環境

- ・ VMware

適用システム概要

- ・ VMware Briefing Center Tokyoのシステム基盤

Tintri のソリューション

Tintri VMstore

主な用途

- ・ 製品を使って実現する世界観を紹介するためのコンテンツ提供

interviewee of this article



ヴイエムウェア株式会社
ソリューション技術統括部
VBCソリューショングループ
部長
菊本 洋司 氏



ヴイエムウェア株式会社
ゼネラルビジネスSE統括部
パートナー SE部
システムズエンジニア
七澤 壮君 氏



ティントリジャパン合同会社
東京都千代田区丸の内2-2-1
03-6213-5400

info.japan@tintri.com | www.tintri.co.jp